TEAM EXPO 2025 共創チャレンジ

未来への
文化共創
ウィーク

イベント学会『地球市民』が実現する持続可能な社会の提言

世界自然遺産５地域会議主催

自然保護と暮らしを両立させる取り組みの深化に向けて

2025 5/6（火・祝）10:30 ─ 12:30

会場：大阪・関西万博会場内テーマウィークスタジオ

世界自然遺産を有する日本国内５地域の連携で進められてきた対話の成果を発表します。

それぞれの地域で人口減少や産業の停滞、外からの観光圧力などの問題を抱えながら
世界遺産としてかけがえのない自然の保護と地域の経済・社会の活性化とを
両立させるさまざまな取り組みを重ねてきました。
世界自然遺産５地域会議では、万博参加を機に
これまでの実績を踏まえて「自然保護と暮らしの両立」モデルを提示することを目指しています。

共創チャレンジによる３つの対話プログラム 同日開催

世界自然遺産５地域会議 ― いのちをつなぐ水と地域・地球市民フォーラム ― 関西・歴史文化首都フォーラム

OSAKA, KANSAI, JAPAN EXPO 2025

いっしょに、いこな！
＼大阪・関西万博／

JAPAN INSTITUTE OF EVENTOLOGY イベント学会

共催：イベント学会、一般社団法人 地球産業文化研究所

2025 **5/6**（火・祝）10:30－12:30

自然保護と暮らしを両立させる 取り組みの深化に向けて

「両立」をめぐって、各地域が共通して
直面している課題について、
先進事例の報告を受けながら、
様々な立場・地域と観点から意見交換を行います。
この議論を通じて、
「両立」のための仕組み・条件や
「両立モデル」のイメージを探ります。

会場 大阪・関西万博会場内テーマウィークスタジオ

●プログラム

5地域の自然を映像で紹介 協力：TBSテレビ番組「世界遺産」
モデレーター：田中 俊徳（九州大学准教授・環境政策・ガバナンス論）

事例報告①「持続可能な利用のための観光管理」（西表）
徳岡 春美（一般財団法人西表財団 事務局長）

事例報告②「多様な主体の参加促進と協働」（知床）
山本 幸 （公益財団法人知床財団 事業部長）

パネルディスカッション
・斎藤 栄作美（秋田白神ガイド協会会長）
・渋谷 正昭 （小笠原村村長）
・洲上 奈央子（ダイキン工業株式会社 ＣＳＲ・地球環境センター）
・中山 洋彦 （世界自然遺産推進共同体代表、ＪＡＬ鹿児島支店長）
・則久 雅司 （環境省九州地方環境事務所長）
＊モデレーター：田中 俊徳

コメント
小野寺 浩 (屋久島環境文化財団理事長・世界自然遺産５地域会議代表）

全体のまとめ
モデレーター：田中 俊徳

●登壇者プロフィール

田中 俊徳

九州大学アジア・オセアニア研究教育機構准教授
環境政策・ガバナンス論。京都大学博士、元ユネスコ本部世界遺産センター研修員。国立公園や世界遺産、ユネスコエコパーク等の保全管理政策を対象に、21 世紀型の自然保護地域のあり方について、ガバナンス論（法制度、行政、組織）の立場から研究。

小野寺 浩

公益財団法人屋久島環境文化財団 理事長、
大正大学客員教授
1973 年環境省（当時環境庁）に入庁。自然環境局長などを歴任。自然再生法、外来種法の新規立法や自然公園法の改正などに多数従事。屋久島や知床、奄美群島を世界自然遺産登録へと導いた。現在、世界自然遺産 5 地域会議代表を務める。

徳岡 春美

（一財）西表財団事務局長
静岡県出身。2003 年に西表島に移住。NPO 法人西表島エコツーリズム協会事務局長を経て、2022 年の一般財団法人西表財団設立時に同財団事務局長に就任。西表島の自然環境保全、文化継承、エコツーリズム推進に取り組み、「竹富町観光案内人条例」「西表島エコツーリズム推進全体構想」などの制度設計にも携わる。

山本 幸

（公財）知床財団
神奈川県横浜市出身。大学時代のサークルで初めて知床を訪れ、以来通うようになる。卒業後は、東京で会社勤めののち、退職して知床へ。2010 年知床財団に入職し、環境教育などの普及対策や広報事業、公園管理、収益事業などを担当してきた。現在は、外部パートナーの拡充に向けて渉外業務も担当している。

斎藤 栄作美

秋田白神ガイド協会会長
1949 年藤里町粕毛生まれ。マタギの祖父と杣夫の父の元で育つ。中学卒業後、北海道、岩手、宮城県で林業に従事。20 代で帰郷し、89 年からはガイドを開始。初代白神山地世界遺産センター藤里館自然アドバイザー。ガイドやメディアを通じて、白神の森の価値と共生の実体験を伝えている。

渋谷 正昭

小笠原村村長
1982 年に筑波大学大学院を修了。1983 年に小笠原村入庁。2004 年から 15 年まで小笠原村の総務課長、産業観光課長を務め、2015 年 9 月から副村長、2021 年 9 月から現職。エコツーリズムの先駆けとなるホエールウォッチング協会をはじめ、エコツーリズム協議会、村観光局の設立に尽力。

洲上 奈央子（すがみ なおこ）

ダイキン工業（株）CSR・地球環境センター
2003 年ダイキン工業株式会社入社。2011 年より CSR・地球環境センターに在籍し、サステナビリティに関する社内外コミュニケーション全般を担当。特に生物多様性保全事業に情熱を注いでおり、「森は地球のエアコン」のキャッチフレーズで世界 7 カ所の森林保全プロジェクトを推進中。

中山 洋彦

1993 年日本航空入社、2024 年より鹿児島支店長を務める。世界自然遺産推進共同体代表。共同体は、奄美大島、徳之島の世界遺産登録への貢献を目的に発足。遺産登録後は、保全と活用のため、ロードキル防止対策や質の高い観光保持などに取り組む。奄美群島の観光関連の企業・団体を中心に 71 社が加入（2025 年 3 月）。

則久 雅司

環境省九州地方環境事務所長
1992 年、自然系技官（レンジャー）として環境庁入庁。国立公園、外来生物対策、生物多様性戦略、動物愛護管理等を担当。釧路自然環境事務所次長、鹿児島県自然保護課長、環境省自然環境計画課長等を歴任し、各地の世界自然遺産の保全管理に携わる。2024 年 7 月より現職。

開催告知 会場：シャインハット

自然千の 千の時間

千の自然・千の時間
私たちと世界自然遺産５地域

2025 **6/5**（木）
5地域による1day 祭典開催
国際シンポジウム・子ども作文コンクール
大型自然映像上映・芸能パフォーマンスなど